



INFORMATION

■ 症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

症例検討会名・開催日	時間・場所
■ 乳腺テクニカルカンファレンス 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 呼吸器カンファレンス 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 消化管カンファレンス 毎月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 周産期症例検討会 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。
検討ご希望の症例がございましたら是非ご持参下さい。皆様の多数のご参加をお待ちしております。(TEL：093-533-8660〈直通〉)

■ 研修会のご案内

日程	テーマ	講師
1月25日(木)	がん薬物療法 1. 治療の進歩 2. 支持療法の進歩	腫瘍内科主任部長 若松 信一 薬剤師長・がん薬物療法認定薬剤師 米谷 頼人
2月22日(木)	食道がん、膵臓がん最近の治療 1. 食道がん外科治療の現況 2. 膵臓がんの化学療法と補助療法	外科部長 渡部 雅人 消化器内科部長 植田 圭二郎
3月 8日(木)	肺がんの最近の治療 1. 肺がんの薬物療法の最新情報 2. 肺がんの外科治療 3. 肺がんに対する鏡視下手術	呼吸器内科主任部長 井上 孝治 呼吸器外科主任部長 濱武 基陽 呼吸器外科副部長 水内 寛

▶場 所：北九州市立医療センター 別館6階講堂 【問合せ先】
▶時 間：18時30分～(1時間～1時間30分程度) 北九州市立医療センター 医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)

輪

北九州市立医療センターニュース「輪」
第68号 2018年1月30日発行



<本院の基本理念>

わたくしたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 党 / Photo：中山 俊輔

© 2018 北九州市立医療センター /
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

編集 明けましておめでとうございます。天皇陛下のご退位が決まり、来年は新たな元号
後記 に変わります。平成も最後の年になります。図らずも、昭和最後の年は医師としての
の第一歩を踏みはじめた、人生の中で最も記憶に残る1年でありました。平成最後の1年は
図ることができます。ところで今号から輪のデザインを新たにしましたがお気づきですか。記憶
に残る第一歩です。今年は平成最後の年にふさわしい記憶に残ることを図りましょう。(尼田)

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>

広報委員会「輪」編集委員

尼田 寛 重松宏尚 坂井 寛 大津博恵 小野弘美 森崎恵美子
石井隆義 松本順子 高見将彦 佐藤美登里 天野健司 中山俊輔



HP：QRコード



FB：QRコード



北九州市立医療センター

CONTENTS

- 01 2018年 年頭のごあいさつ
- 02 スポットライト／
15年目を迎えた総合周産期母子医療センター
～より良い医療を目指して～
- 03 トピックス／
北九州市立医療センター「出前講演」実施のお知らせ
認定看護師による「出前講演」も実施中!
- 05 院内紹介／第7回業務改善活動報告会
- 06 トピックス／患者満足度調査(外来)の結果について
- 07 看護の広場／6階北病棟
- 08 人物クローズアップ／登山について
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION
症例検討会・研修会のご案内



〔表紙写真について〕
「パパに抱っこされて、気持ちがいいなー。」
いつもは保育器の中で過ごしている子どもたちも、カンガルーケア
中は、パパとママからごほうびをもらいます。



2018年 年頭のごあいさつ

北九州市病院局長
古川 義彦

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び
申し上げます。

新年を迎え、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

本市では、2015年3月に国が示した「新公立病院改革ガイドライン」
を受けて、昨年10月に「新北九州市病院事業経営改革プラン」を策
定しました。

新改革プランの策定にあたっては、外部の有識者で構成する「市
立病院のあり方検討会議」において、市立病院の経営形態、地域医
療構想を踏まえた市立病院の役割、経営の効率化など、新改革プラン
の骨子となる内容について段階的に議論を深め、さまざまなご意見を
いただきました。

一方、2017年3月に福岡県が策定した地域医療構想では、北九州
地域は、医療資源は豊富であり、医療提供体制は全般的に充実して
いるものの、今後、高齢化に伴う医療の変化に適切に対応していく必
要があるとされています。

こうした状況を踏まえて、新改革プランでは、市立病院においては各
病院の強みを活かしつつ、市立病院間の連携を深めるとともに、民間
病院を含む地域の医療機関との役割分担と連携を推進していくことと
しております。

また、今後の医療需要の変化などに柔軟かつ機動的に対応していく
ため、医療センターと八幡病院について、2019年4月の地方独立行政
法人化を目指すことも明記しており、現在その実現に向けた準備を進め
ております。

医療センターにおいては、がん診療を中心に地域における役割を果
たしていくほか、周産期医療、感染症など北九州区域に必要な政策医
療についても、引き続き担っていきたいと考えております。

病院を取り巻く経営環境は厳しさを増すことが予想されていますが、
地域に必要な医療を安定的に提供して行くために、職員一丸となって、
取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、新
年のご挨拶とさせていただきます。



15年目を迎えた総合周産期母子医療センター ～より良い医療を目指して～

当院の総合周産期母子医療センター
は2001年12月に発足して、15年目を迎
えました。母体または児におけるリスク
の高い妊娠に対する医療、分娩時や分娩
後の危機的出血に対する医療、妊娠22
週以降に生まれた新生児に対する高度
な医療を、産婦人科、小児科、小児外科
を中心に、麻酔科、脳神経外科、循環器
内科など他の診療科の支援を得ながら、
病棟や手術室、集中治療室の助産師、看
護師とともにチーム医療を日々行っており
ます。

この14年間の入院患者さんの総数は、
妊娠婦が約12,600人、新生児が約
3,300人となり、約2,000人の救急搬送
を受け入れてきました。地域の医療機関
の先生方から本当に多くの患者さんをご
紹介いただきまして、心より御礼申し上
げます。

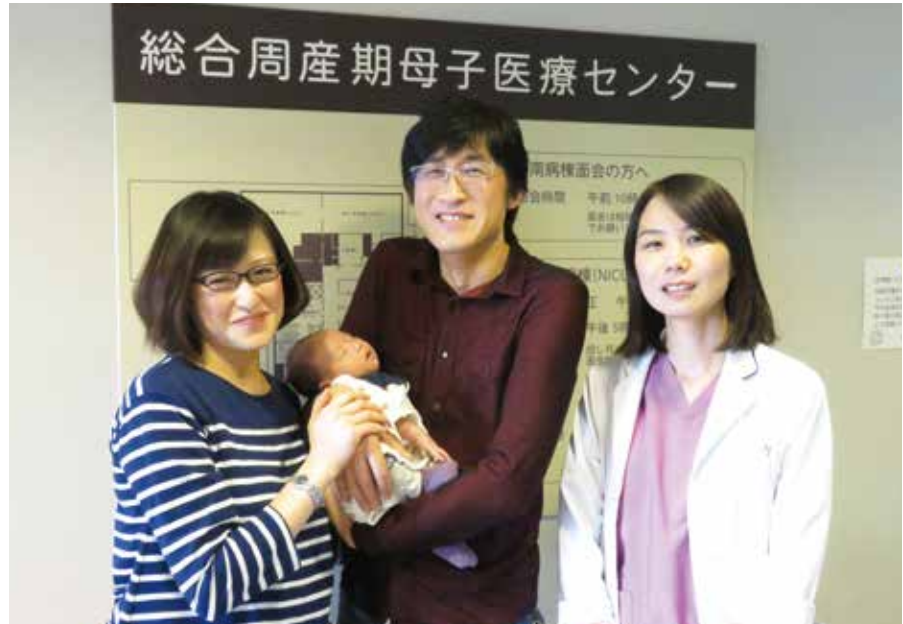
総合周産期母子医療センター以前の
産科診療の主体を占めていたのは、正常
妊娠・分娩でしたが、ハイリスク医療へ
の転換を図るため、2003年から正常妊
娠の受け入れ制限を開始し、2006年か
らは正常妊娠の受け入れを中止してハ
イリスク妊娠・分娩に特化した形で現在
に至っています。

当センターの最もよいところは、医師
やスタッフ間での連携が円滑であること
です。搬送受入時はもちろんのこと、患
者さんに何か変化があれば連絡を密に
とっています。産婦人科、小児科、小児外
科での合同カンファレンスや合同回診を
各々週1回行っています。

この14年間に多くの業務改善を行っ
てきましたが、ここで新生児集中治療管
理室(NICU)の事例をご紹介します。以
前は医療者の都合が良い時間で医療者

がケアを行っていましたが、家族を中心
として医療者と一緒にパートナーシップ
を形成してケアをしていくfamily
centered careを3年前から取り入れま
した。家族の面会入室時間を21時まで
延長し、仕事帰りのパパの面会が2割くら
い増えました。産科に入院中のママは24
時間面会可能とし、いつでも我が子に面
会ができてとても好評です。

妊婦の高齢化や少子化、生殖医療の
普及などによってハイリスク妊娠は増加
しています。一方、産婦人科医や小児科
医の医師数は年々減少しているとともに、
現役の医師たちは確実に高齢化してい
ます。このような厳しい状況の中、一人で
も多くの患者さんたちの幸せのために、
私たちは今後も努力してまいりますので、
これからよりよろしくお願いいたします。



当センターでの最高齢(47歳)出産のご家族と担当医



ママと清拭中



パパと体重測定



総合周産期母子医療センター長
高島 健



合同カンファレンスの様子



カンガルーケア中のパパ

北九州市立医療センター『出前講演』実施のお知らせ



中野院長による出前講演の様子

北九州市立医療センターでは、身近な医療のお話や最新の治療方法など、北九州医療圏の皆さんに、医療に関する正しい知識を知っていただきたいと思い、日頃より講演活動を実施しています。

従来から、年に8回程度、北九州市立商工貿易会館(北九州市小倉北区古船場町1番35号)にて「市民公開講座」を実施しておりますが、「自宅から遠くて聞きに行きにくい」という声も出ております。

そこで、ご希望の場所にこちらから出向いてお話をさせていただく「出前型」の講演も実施していきたいと考えています。私たちは、こうした講演を「出前講演」と呼んでいますが、たくさんの方々にお申込みいただければ幸いですので、お知り合いの方や貴院の患者さんでのご興味のある方がおられましたらご案内をお願いいたします。医師や薬剤師などさまざまな職種の職員からお話をさせていただきます。

■平成29年度 医療センター 出前講演テーマ一覧

No.	テーマ	講演者	対応可能日(参考)		
			曜日	～17時	17時～
1	あなたも「痛み」で悩んでいませんか?～進歩した「痛み」の治療～	麻酔科(医師) 総括副院長 眞鍋 治彦	木曜日 金曜日	○	○
2	心不全の診断と治療	循環器内科(医師) 副院長 浦部 由利	木曜日	午後 ○	○
3	最新のがん治療のご紹介	外科(医師)	—	—	—
	①膀胱がん	主任部長 西原 一善	土曜日 日曜日	○	×
	②食道がん	部 長 渡部 雅人	平日	×	○
	③胃がん	部 長 渡部 雅人	平日	×	○
	④乳がん	部 長 藤野 稔	土曜日 日曜日	○	×
	⑤大腸がん	部 長 水内 祐介	土曜日 日曜日	○	×
4	⑥甲状腺がん	部 長 古賀健一郎	平日	×	○
	薬剤師のお話	薬剤師	平日	○	×
	①聴覚障害について (お薬の飲み方の説明)				
	②がんの薬物療法				
	③緩和医療とお薬				
	④循環器科のお薬				
	⑤糖尿病のお薬				
5	⑥感染症とお薬				
	放射線治療の役割について	診療放射線技師	平日	○	×
6	栄養について(糖尿病・減塩など)	管理栄養士	平日	○	×

※お申し込みは管理課庶務係(TEL: 093-541-1831(内線3102))へ

認定看護師による「出前講演」も実施中!



出前講演の様子



正しいマスクの着脱方法の説明

テーマと内容	認定看護師分野	テーマと内容	認定看護師分野
・がん性疼痛のアセスメントと薬物療法の基礎知識 ・緩和ケア地域連携バスの運用 ・見取りのケア・エンゼルケア	がん性疼痛認定看護師 緩和ケア認定看護師	・感染経路別予防策など ・感染対策の基本	感染管理認定看護師
・抗がん剤の副作用	がん化学療法認定看護師	・呼吸・循環のフィジカルアセスメント ・安全な酸素療法	集中ケア認定看護師
・乳がん手術後の生活指導 (創部管理・リンパ浮腫予防)	乳がん看護認定看護師	・新生児看護について (哺乳・あやし方・睡眠など)	新生児集中ケア認定看護師
・褥瘡局所管理の実践 ・脆弱な皮膚のスキンケア	皮膚・排泄ケア認定看護師	・安全なフットケアの方法	糖尿病看護認定看護師
		・がん放射線療法の概要と有害事象のケア ・摂食・嚥下障害(加齢と誤嚥性肺炎)	がん放射線療法看護認定看護師 摂食・嚥下看護認定看護師



感染管理認定看護師

谷岡 直子

※左記テーマ以外についてもご相談ください。

魚町商店街にある、一般市民のシニアの皆さんが積極的にまちづくりに参加する「いきがい活動ステーション」より依頼があり、第6回いきステ健康講座「自宅でできる感染予防」のテーマで肺炎、インフルエンザ、ノロウイルスの3つの予防についてお話をさせていただきました。

現在、肺炎は日本人の死因の第3位であり、その約95%が65歳以上で、最も多い原因菌は肺炎球菌です。肺炎予防として、2014年から高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種制度が始まり、成人用肺炎球菌ワクチンが推奨されているため、まず初めに北九州市の肺炎に関する取り組みを紹介しました。

参加者の中で、肺炎球菌ワクチンを既に接種している方が約半数で、健康管理に積極的に取り組まれている方が多いと感じました。また、誤嚥予防のために、のどを鍛える体操を参加者の方と一緒に行いました。皆さん実施演習に積極的に楽しそうに参加していました。

次に、毎年流行し世間を騒がしているインフルエンザとノロウイルスに関しても話しました。インフルエンザの予防として、インフルエンザの症状、咳エチケットや手洗いのタイミングと方法など個人でできる方法を話しました。

また、ノロウイルスの予防については、ノロウイルス感染の症状を説明し、吐物処理時の重要ポイントを話しました。病院で対応する時と同じように、自宅にあるゴミ袋で使い捨てのエプロンを作る方法を説明しました。菌やウイルスが自分のどこから侵入してくるのか(侵入門戸)を知り、より具体的な感染予防や対策ができるお話をしました。

最後に、菌や汚れにみたてた蛍光塗料を手塗って、参加者自身で通常の手洗いをし、ブラックライトを当てることにより洗い残しが確認できる手洗いチェッカーを希望者にしていただきました。手洗いをした方は、「実際にやってみてゴシゴシ洗うのではなく、泡の弾力を利用し、

隅々まで洗うことが重要と理解できた」、「実施にやって自分の不十分な手洗いをしていたことがわかり、やってみてよかった」との声がありました。参加者はメモを取ったり、うなずきながら熱心に話を聞き、充実した会となりました。

当院では、専門性の高い12分野の認定看護師がおり、出前講演を承っております。講演のご希望がありましたら、対象者やニーズに合わせたテーマで講演を行いますので、遠慮なくご依頼下さい。



▲手洗いチェッカー



院内紹介



業務改善活動推進委員会 委員長
大津 博恵

第7回業務改善活動報告会

12月7日に第7回業務改善活動報告会を開催しました。この報告会は2011年に始まり今年で7回目を迎えます。

今年度は看護部・事務局・薬剤課から7題の活動報告が行われました。どの演題も現在の問題を解決するために、日々改善活動が行われていることが伝わってくる内容でした。

またプレゼンテーション技術は年々向上し、仮装あり実技ありで少しほろりとさせられるような発表に時間を忘れて聞き入りました。

最優秀賞は、8北病棟、「8階北病棟からの脱出～NICUの赤ちゃんを救出せよ」が受賞しました。災害時を予測して救出方法のシミュレーションを、日々の業務として実践しているNICUの看護師たちの姿に「小さな命を守るぞ」という使命感が伝わってきました。

今後も日々業務改善に取り組み、質の高い医療の提供、職員満足度の向上につながることを期待しています。



1位【8北病棟】
「8階北病棟からの脱出～NICUの赤ちゃんを救出せよ～」

2位【薬剤課】
「腎機能低下患者の薬剤適正使用に向けた取り組み」

3位【事務局】
「多職種協働での取り組み～外来待ち時間改善プロジェクト～」



NICU発表



小児病棟発表



事務局発表



司会進行する医師

患者満足度調査(外来)の結果について

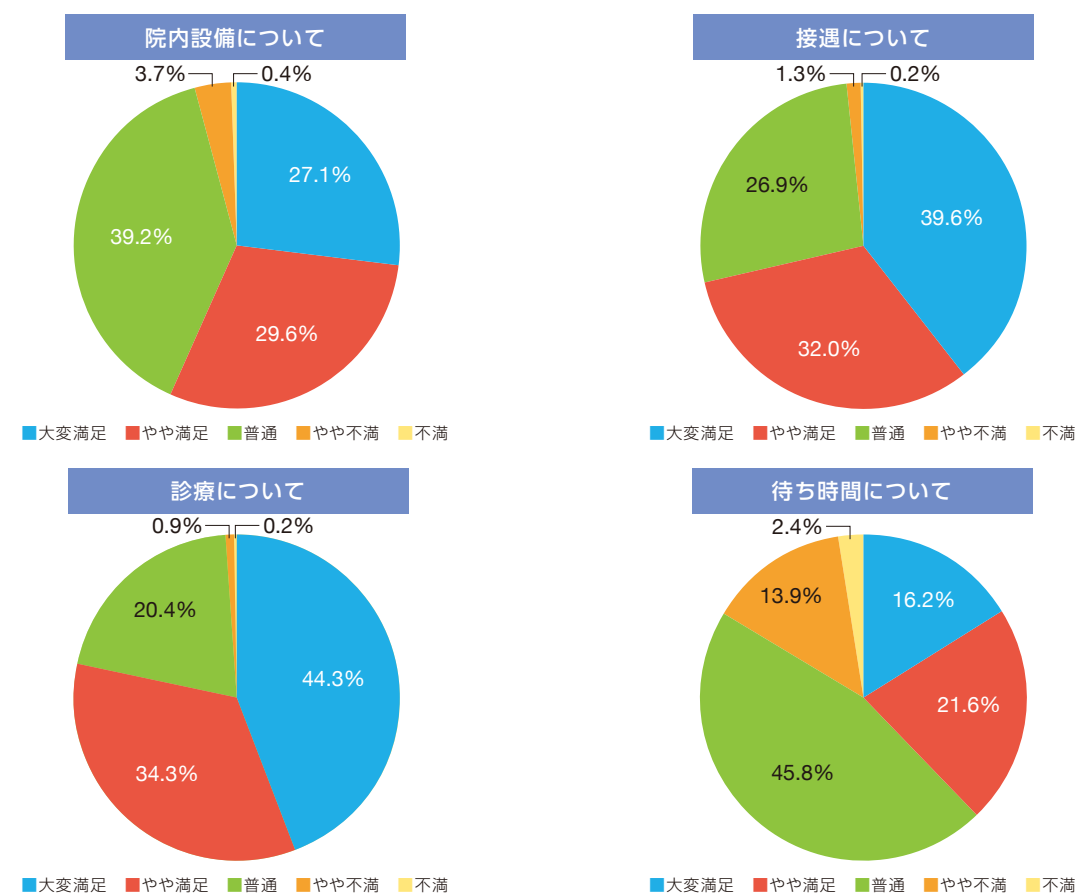
TOPICS
トピックス

患者さんの意見・要望を把握し、医療サービスの向上など今後の病院づくりに役立てるため、外来受診された患者さんにご協力いただき、満足度のアンケート調査を実施いたしましたので、その集計結果についてご報告いたします。

■アンケート実施概要

- (1)実施時期 2017年10月16日～20日
- (2)調査対象 実施時期に来院された初診・再診外来患者さん 300人
- (3)調査概要 院内設備、接遇、診療、待ち時間について31項目を5段階評価
(大変満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点)で無記名アンケートを実施
- (4)回答数 256件(回収率85.3%)
- (5)総合評価点数 初診：80.1点(昨年比+2.4点) 再診：79.8点(昨年比-0.3点)

集計結果(初診、再診の各項目のポイント合計から評価ごとに按分したもの)



調査結果を踏まえて

院内設備や接遇、診療の満足度は一定の評価を得ている一方で、待ち時間については、比較的低調な満足度となっており、さらなる改善が必要であるといった調査結果となりました。個別の自由意見では、駐車場の案内表示をわかりやすくしてほしいなど多くのご意見をいただきました。

本年は、昨年度の調査結果等を受け、待ち時間の短縮を目的とした「待ち時間改善プロジェクト」の開始や、オストメイト(人工肛門)対応トイレの設置など、患者さんが少しでも快適に過ごせるよう、さまざまな施策を講じてきたところです。

今後も、今回の調査結果で明らかになった課題の解決に向けて、さらなる診察予約時間の分散等を含む「待ち時間改善プロジェクト」の運用改善や病院設備など、すべての患者さんご満足いただけるよう、努力していきたいと考えております。

外来委員会では、今後もこのアンケート調査の結果やご意見を踏まえ、患者さん視点で課題を見つめ、医療サービス向上のための検討を重ねていきたいと考えています。

最後になりましたが、ご協力いただきました皆様方に心から御礼申し上げます。

外来委員会委員長 眞柴 晃一

6階北病棟

とととで
(目と手と心で)

患者さんに寄り添う 看護を目指して

6階北病棟は産婦人科20床、泌尿器科18床、消化器内科13床、計51床の3科混合病棟です。看護師27名(看護師長1名、主査2名)と夜勤専従看護師2名、看護補助者5名で協力しながら看護を行っています。職場は親しみを感じる雰囲気、新人看護師がのびのびと働くことができ、ベテランから新人看護師までお互いに協力し合ってチームワークよく仕事をしています。ある看護師は長距離ランナー、トレーニングで体力をつけ、ある看護師は音楽で豊かな感性を磨き、ある看護師は茶道で精神力を身につけ、さまざまな特技を生かして日々良い看護が提供できるようにがんばっています。

産婦人科、泌尿器科では手術・化学療法・放射線治療を目的とした患者さんが多く入院しており、消化器内科は内視鏡治療・化学療法等を行っています。入院患者さんが月に100人以上と多く、治療も多岐にわたっていますが、私たち6北病棟スタッフは多くの患者さんとの出会いを大切に安心して療養ができるように心掛けています。クリニカルパスを使用し標準化された治療を提供し、患者さんに治療・看護がわかりやすいように丁寧な説明を行っています。産婦人科では診察時、看護師が傍らにいて安心していただけるように援助しています。また泌尿器科では尿路変更に伴いストーマを作ることがありますが、皮膚・排泄ケア認定看護師を中心に安心できるケアを行っています。ストーマケアに困った時はストーマケアの資格者である看護師がかけつけ、お助けします。年に2回外科および泌尿器科の医師、外科の看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師と共同でオストメイト懇親会(ストーマ患者会)のお手伝いもさせていただいています。さまざまな問題や悩みを抱えながらも生き生きとした姿を拝見すると私たちもパワーをもらえます。

さらに外来、入院センター、医療連携室、ソーシャルワーカーと連携し、住み慣れた自宅に帰れるように退院支援を行っています。また自宅に帰って困らないように外来と連携し、継続看護を行っています。退院後に「自宅に訪問看護師さんに来てもらってよかったです、不安なく元気に過ごしてますよ。」と聞いたときにはうれしく思います。当病棟は受け持ち看護師を中心に患者さんの思いに寄り添い、心のこもった対応を心掛けています。今後も医師・多職種と話し合いの場をもち、より良い医療とケアの提供を目指します。



申し送り場面



退院支援カンファレンス



ストーマ患者会



6階北病棟 看護師長 松嶋 久美子

CLOSE
UP!

人物 クロースアップ

登山について

耳鼻咽喉科 医師

土田 佐和



私は山が好きで、カッコいい山を見ると登りたくなります。山それぞれの形、季節ごとの風や緑や土の香り、ふかふかの土だったり、ごつごつの岩だったりする地面の感触、日常から離れ、思いっきり体を動かして、心も体もすっきりすること、湧き水やコーヒーのおいしさ、キャンプの楽しさ、温泉の気持ちよさなど、魅力がいっぱいです。

学生の頃から山へ行くことは好きで、縦走やトレイルランニングなどもしていましたが、この数年はある人から

の勧めで、アルパインクライミングに憧れています。

アルパインクライミングとは、山岳地域における岩壁登攀であり、岩、雪や氷などのルートを取り、クライミング技術を用いて頂上へ登攀すること。一般的な山歩きよりも危険度は高まりますが、困難を乗り越えてこそ見られる絶景や、肉体的にも精神的にも厳しい自然に曝されることで得られる感動があり、各山行が唯一無二の貴重な体験になり、自らを成長させてくれるのだと思います。



冬の北岳



フリークライミングの岩場



夏の剣岳ハツ峰



マイナス20℃のキャンプ



山には珈琲とおやつを持っていく

私はまだまだクライミング初心者ですが、いつか厳しくも美しい、大きな山に、自らルートを描き、精一杯の力を出して登ることができたらと考えています。そして、そんなに大きく難しくなくても、ずっと山を楽しんでいけたらと思います。

普段はなかなか大きな山へは行けないので、近くの

足立山(戸ノ上山、風師山への縦走路も好き)を走ったり、ボルダリングジムで登ったり、自然の岩を登ったりして、楽しんでいます。興味があればぜひ登りましょう。登らないよという方には、映画「剣岳点の記」「MER-U」、本「青春を山にかけて」「垂直の記憶」などで、山に親しんでいただけたら幸いです。



登録医のご紹介

Clinic
1

医療法人 宮本医院 やます整形外科リウマチ科 クリニック

INFORMATION

所在地：小倉北区大手町13-34 大手町ハローパーク2階 204 院長：彌益 清文
TEL：093-583-0098 診療科目：整形外科・リウマチ科
FAX：093-583-0099

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	×	○	○	○
15:00~19:00	○	○	○	×	○	×	○

※受付は診療終了15分前まで（休診：祝日）



院長
彌益 清文



アピールポイント

2017年7月に小倉北区米町から大手町ハローパーク2階に移転しました。日曜日午前中に診療しておりますのでご利用くだされば幸いです。診療上は、関節疾患の超音波画像診断を中心に頸部痛、腰痛などの疼痛治療を加えた整形外科治療をしております。関節リウマチ治療に長年取り組んでおります。

市立医療センターへの一言

脊椎MRI、胸部CTなどの画像撮影、読影診断にはいつも「できるだけ早い日をお願いします」で焦らせて申し訳ございません。病診連携室、整形外科はもちろん、内科、心血管外科など幅広くお世話になっております。いつも感謝いたしております。今後ともよろしくお願いいたします。

Clinic
2

医療法人 三保木医院 耳鼻咽喉科

INFORMATION

所在地：小倉北区重住3丁目2-16 院長：三保木 隆夫
TEL：093-922-8822 診療科目：耳鼻咽喉科
FAX：093-922-8823

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:00	○	○	×	○	○	○	×
14:30~18:00	○	○	○	×	○	×	×

※土曜日は16時まで（休診：水曜午前）



院長
三保木 隆夫



アピールポイント

イオン城野店2階から2017年4月1日に小倉北区重住に移転しました。診療では電子カルテと画像処理ソフトを使用しています。一つの画面で現在の耳内や鼻腔、咽頭喉頭の映像、レントゲンや聴力検査の結果をお見せでき、また過去のデータとの比較も一つの画面で可能になりました。これまで以上にわかりやすく、納得のいく説明と治療に努め、患者さんのお役に立ちたいと考えております。

市立医療センターへの一言

手術症例や時間外での救急患者の受け入れを快くして下さり感謝しております。また御忙しい中、丁寧なお返事ありがとうございます。大変心強いです。今後ともよろしくお願いいたします。

明けましておめでとうございます

新たな年を迎え、皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、昨年は当院の医療連携におきまして、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年連携室は、

- ・ 4月：初診紹介患者時間予約制の開始
- ・ 7月：連携室の時間予約制の受け付け時間延長の開始
- ・ 8月：連携ネット北九州にての画像依頼に関して検査終了時に、依頼元医療機関様への電話連絡開始
- ・ 12月：心臓CT、ダットスキャンの画像依頼受付開始

など、地域の先生方のご意見などを参考に連携室の業務を見直してまいりました。

今年も引き続き、地域の医療機関の皆様と顔の見える連携を心掛け、連携室業務に取り組んでまいりたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里



前方連携のメンバー



後方連携のメンバー

【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/hospital/center/>
E-mail: byou-iryuu-renkei@city.kitakyushu.lg.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。

医療連携室だより

医療連携を基本に業務内容の充実を図り、地域医療機関、患者さん、職員から安心して頼りにされるよう取り組んでまいります。